

## 第三者評価結果入力シート（児童養護施設）

種別	児童養護施設
----	--------

### ① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人介護の会まつなみ

### ② 評価調査者研修番号

SK18078

神機構-734

### ③ 施設名等

名称：	白十字会林間学校
施設長氏名：	山川 信人
定員：	50名
所在地(都道府県)：	神奈川県
所在地(市町村以下)：	茅ヶ崎市富士見町4-54
T E L：	0467-82-8044
U R L：	<a href="http://www.hrg.or.jp/">http://www.hrg.or.jp/</a>
<b>【施設の概要】</b>	
開設年月日	1950/4/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 白十字会林間学校
職員数 常勤職員：	29名
職員数 非常勤職員：	13名
有資格職員の名称（ア）	児童指導員
上記有資格職員の人数：	9名
有資格職員の名称（イ）	保育士
上記有資格職員の人数：	9名
有資格職員の名称（ウ）	臨床心理士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（エ）	看護師
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（オ）	管理栄養士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（カ）	
上記有資格職員の人数：	名
施設設備の概要（ア）居室数：	45室
施設設備の概要（イ）設備等：	地域交流スペース
施設設備の概要（ウ）：	親子訓練室
施設設備の概要（エ）：	子育て短期支援室

### ④ 理念・基本方針

理念：私たちの使命は「子どもたちを豊かに愛すること」です。  
 多く愛された子は、多く愛する力を持つようになります。豊かに愛されることで、その子に自分を大切にできる心が生まれ、人を愛する心が育ちます。この心が自立への大きな力となります。  
 支援方針：①子どもが居場所として感じられる安心で安全な生活を守る。②一人ひとりを大切に支援し、それぞれの生き方を支える。③一人ひとりの目指す自立を支援する。

⑤施設の特徴的な取組

子ども一人ひとりそれぞれの生き方や自立を支えていくため、集団生活という枠にとらわれずに個別対応が行えるよう、子どもの状況に応じた柔軟性のある支援に努めている。また、茅ヶ崎市委託事業である子育て短期支援事業を運営することで、地域の子育て支援を茅ヶ崎市と協働して取り組んでいる。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2020/5/25
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2021/2/26
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度

⑦総評

特に評価が高い点：地域への活動として、子育て短期支援事業の取り組み、老人会、コーラス、自治会、ヨガへの会場提供し、地区社協等と連携し、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献しています。家庭養育支援センターにおける地域の子育て支援、子育て講座の実施をしています。災害時の食料品備蓄や災害時の貯水・災害時の避難場所やハザードマップ整備をしています。  
改善が求められる点：中・長期計画数値目標や具体的な成果等を設定するよう希望します。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

評価が高かった項目については今後も精査して、さらなる充実を図りたい。  
改善が求められた項目（中・長期経過数値目標や具体的な成果等を設定する）については善処していきたい。  
今回の評価結果を職員間で共有、協議し、より良い施設運営を目指していきたい。

⑨第三者評価結果（別紙）

（別紙）

第三者評価結果（児童養護施設）

共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
□理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	○
□理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
□基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
□理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○
□理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。	○
□理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○

【コメント】

理念、基本方針が支援要綱ならびに運営要綱は明文化されており、職員会議で読み合わせをして継続的に周知しています。またホームページにも掲載されています。施設紹介のためのわかりやすい資料等(パワーポイント)も作成されており里親や子どもたちへ周知されています。

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○

【コメント】

国の政策等について施設長から会議で報告があり情報共有しています。国(全養)、県(協議会)、市(地域福祉活動推進計画)レベルで情報収集しながら、目指すべき方向性を施設の支援体制や資金の現状を確認し、常に検討しています。園長は茅ヶ崎市地域福祉推進委員会の委員として地域福祉計画の作成を行っているなど地域及び行政と連携しています。

② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○
<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○

【コメント】

職員配置や人材育成への取り組みは理事会・評議員会に職員体制や人材育成、養育支援について報告を行い意見交換を実施しています。児童の暫定定員数や措置費等の説明を職員会議で行っています。また施設長を中心に年間を通して情報収集と検討を行い、必要に応じて運営会議にて検討しています。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○

<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	

【コメント】

5か年計画（家庭的擁護推進計画）を今年度も継続しています。具体的内容になっているものの数値目標や具体的な成果等を設定することが出来ていません。

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画（事業計画と収支予算）に、中・長期計画（中・長期の事業計画と中・長期の収支計画）の内容が反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	

【コメント】

中・長期計画の内容が反映された事業計画が作成されており、単なる「行事計画」ではない具体的な計画になっています。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知（会議や研修会における説明等）がされており、理解を促すための取組を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

事業計画は「白十字会林間学校の運営」に記載しており、内容は支援者会議にて検討がなされています。支援者会議にて振り返りと次年度計画の意見交換をしています。事業計画は職員会議で説明し、統一を図っています。

②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知（配布、掲示、説明等）されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

保護者のための案内、林間生活ガイドブック等分かりやすく工夫された資料で説明しています。子どもたちには、子ども会議で説明しています。

#### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的を受審している。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○

【コメント】

施設独自の年1回の自己評価の実施と児童養護施設運営指針の自己評価の実施、3年ごとに第三者評価の受審をしています。自己評価はグループ会議、支援者会議、園内カンファレンスなどを通じて行い、支援者会議にて前回の振り返りを行っています。グループ会議、支援者会議を毎週行っており、自立支援計画を作成しています。第三者評価の内容については、公表後職員会議で報告され検討されています。

② 9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

【コメント】

施設独自の自己評価と児童養護施設運営指針の自己評価を実施し、評価結果の課題を支援者会議、または運営会議にて検討しています。第三者評価の内容については、公表後職員会議で報告され検討されています。

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○

<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	<input type="radio"/>

【コメント】

林間生活ガイドブックに方針や取り組みを明確にし、役割や責任も表明しています。管理規程・就業規則・組織図等にも役割や責任が明示され、職員へ周知されています。災害時の連絡体制を明示して、有事における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されています。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

「福祉新聞」等及び研修などでの情報収集をして遵守すべき法令等を施設長は十分理解をしており、利害関係者との関係も「事務・会計に関する手引き」を踏まえ適正に行っています。生活支援要綱(職員用)を作成し、職員に対しても遵守すべき法令等を遵守し養育・支援に取り組むようにしています。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設長は職員個別面談でコミュニケーションを取りながら、自らの役割と責任を明らかにしています。また、会議や委員会などの現状について評価や分析を行い、職員の意見を取り入れながら取り組んでおり、支援者会議などを通じて週1回職員とともに課題解決に取り組んでいます。施設長は職員研修を計画的に実施するとともに自らも研修や会議に出席し自己研鑽に努めています。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【コメント】

人員配置、働きやすい環境等の整備に取り組んでおり、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っています。人員配置は職員に意見を聞きながら常に検討し、勤務表を作成しながら可能な限り朝休、夜休を取り入れています。実効性については支援者会議や運営会議、個別に開くミーティングにより高めています。運営会議・支援者会議・職員会議等の会議の中で職員の意見を反映する取組を行っており、自らも参画しています。

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者 評価結果	
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○

【コメント】

事業計画・白十字会林間学校の運営・生活支援要綱に福祉人材の確保と育成に関する方針を明示しています。職員育成に関して各職員と話し合う機会、振り返りと今後の相談をする場を設定しています。担当職員や入職3年以内の職員といった経験年数別に園内研修を実施しています。インターネット求人を活用し、毎週説明会を開催しています。里親支援専門相談員、臨床心理士、家庭支援専門相談員、個別対応職員、小規模グループ対応担当職員、特別指導費加算職員の配置をしています。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○

【コメント】

事業計画・白十字会林間学校の運営・生活支援要綱に期待する職員像等が明確になっており、職員に自己評価を実施して、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を人事基準に基づき評価しています。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	

【コメント】

生活支援要綱・管理規程に労務管理責任体制を明確にしています。職員に対し休暇や勤務時間変更届により管理しており、産休、育休明けの職員に対して勤務配慮を行っています。調理員について、8時間勤務体制を実施しています。職員へは個別面接を実施しています。かながわ福利協会を利用したの福利厚生を実施しています。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【コメント】

事業計画・白十字会林間学校の運営・生活支援要綱等で期待する職員像を明確にしてあり、施設独自の自己評価を実施して目標設定をしています。また 個別面接を実施しています。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○



<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【コメント】

事業計画・白十字会林間学校の運営・生活支援要綱等で期待する職員像を明確にしてあり、年度初めに年間の研修計画を作成しており、職員の希望や経験年数に応じて必要な研修計画が策定されています。外部研修は職員の希望に応じる研修、施設が勧める研修、順番に参加する研修の3つに分けて参加しています。研修計画は年度末に評価・見直しをして翌年度の研修計画を立案しています。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	○

【コメント】

研修の年間計画を立て管理されており、個別の職員の知識・技術・資格取得状況一覧表を整備し職員の意識向上を高めています。外部研修は職員に回覧で周知し参加を奨励しています。勤務調整をし参加できるような配慮もしています。新任職員へリーダーを中心に一緒に仕事をする体制を作り、担当、リーダー制でスーパーバイズできる体制があります。スーパービジョンについては担当、グループリーダー、専門職、主任、副主任、施設長と体制が整っており、研修担当により周知しています。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【コメント】

生活支援要綱に実習生への対応についての考え方について明文化してあります。各専門職（臨床心理士・栄養士・あすなろステーション等）との時間が設けられ、学ぶ機会が用意されています。社会福祉士実習指導者研修、フォローアップ研修等への参加など実習指導者研修に参加させています。学校の実習懇談会に出席をし連携してのプログラムの整備を行っています。

### 3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の実存意義や役割を明確にするように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	

【コメント】

ホームページで理念や基本方針、養育・支援の内容、決算情報、域の福祉向上のための取組の実施状況が公開がされています。また、青少年育成推進協議会等にて施設の状況等情報提供しています。苦情については施設内に申立者に配慮したうえで掲示されています。第三者評価の受審結果は、全国社会福祉協議会、特定非営利活動法人介護の会まつなみ、WAMNETで公開されています。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	

【コメント】

定期的な監査結果を複数の担当者でチェックをし、職員会議等で記録を開示し改善しています。管理規程・事務・会計等に関する手引き等に職務分掌と権限・責任が明確にしており、職員に周知しています。

### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	

<input type="checkbox"/> 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
(児童養護施設) <input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	○

【コメント】

希望があれば地域のスポーツクラブへの参加や地域行事への参加をしています。児童の友人がよく来て遊びに来る環境にあり、また職員が学校の役員を引き受けています。施設の一部(ホール棟)を開放し、お祭りの参加や場所の提供により、地域とのつながりを持っています。学校の友人や保護者とは、個別に必要なに応じて交流を行っています。地域の福祉まつりに参加もしています。子どもの買い物や通院等日常的な活動についても地域における社会資源を利用しています。

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	

【コメント】

「ボランティアの手引き」を作成し、ボランティアの受け入れについてのマニュアルとなっています。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	○

【コメント】

社会資源の一覧リストがあり、地域マップの活用や子どもの希望に沿った塾の紹介をしています。松浪地区社会福祉協議会、茅ヶ崎市社会福祉協議会、青少年育成推進協議会との連携をしています。あすなろサポートステーションとの連携、定期連絡会の実施をしています。茅ヶ崎市地域福祉活動計画推進委員会で地域福祉計画策定に関り具体的な取り組みを行っています。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○

【コメント】

松浪地区社会福祉協議会への参加や青少年育成推進協議会への参加をしています。また 自治会祭りへの会場提供や福祉ふれあいまつりへの参加をしています。また、要保護児童地域対策協議会、茅ヶ崎市社会福祉協議会の地域福祉活動計画推進委員会など地域福祉ネットワークとの情報共有をしています。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【コメント】

地域への活動として、子育て短期支援事業の取り組み、老人会、コーラス、自治会、ヨガへの会場提供し、地区社協等と連携し、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献しています。家庭養育支援センターにおける地域の子育て支援、子育て講座の実施をしています。災害時の食料品備蓄や災害時の貯水・災害時の避難場所やハザードマップの整備をしています。

### Ⅲ 適切な養育・支援の実施

#### 1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。

		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○

【コメント】

白十字会林間学校の運営と白十字会林間学校生活支援要綱を基に取り組んでおり、職員へも周知されています。全国児童養護施設協議会倫理要綱に基づき、施設内虐待防止委員会を設置しグループ会議や支援者会議で検討しています。白十字会林間学校生活支援要綱に養育・支援の実施に関する基本姿勢を明確にして、実施方法に反映されています。職員に関しては経験年数に分けて園内研修を実施しています。

②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	<input type="radio"/>

【コメント】

白十字会林間学校生活支援要綱に個室の権利擁護について、手紙の開封についての考え方を明示しています。子どもたちのSNSの取り扱いについても明確にしています。子どもの生活環境については小学生以上は個室を使用し、林間生活ガイドブックにプライバシーに関する携帯ルールを明示しています。職員は就業規則、個人情報保護規程、セクハラ規程等によりプライバシーに配慮した支援をしています。人権研修に年数名参加し、施設長は必ず年一回参加しています。職員会議でハラスメントの説明を実施しています。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	<input type="radio"/>

【コメント】

理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した林間生活ガイドブック、保護者のための入所案内の資料があり、わかりやすい内容に工夫をしています。幼児が入所してくる際にはアルバムを作成しわかりやすい説明をしています。また慣らし保育や施設見学の実施をしています。

②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○

【コメント】

白十字会林間学校保護者への案内、林間学校ガイドブック等で説明しています。低年齢者には写真等・コメントを使いアルバムなどで説明しています。また定期的に子どもや保護者の意向を確認して意向確認をしています。ケースによって、保護者との話し合いや子どもを含めての話し合いを実施しています。意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮について生活支援用要綱ルール化され、運用が図られています。

③ 32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【コメント】

アフターケアの取り組みについては、他施設への措置変更の際は慣らし保育を実施しています。保護者へは医療の引継ぎ文書を渡すなど、措置変更の際、子どもの状況に合わせて可能な限り配慮しています。保護者や子ども達へは相談できる担当者や相談窓口を設置していることを説明しています。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。	第三者 評価結果
① 33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
<input type="checkbox"/> 職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	○
<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【コメント】

個別面接や意向調査を年1~2回実施し要望・苦情解決の取り組みの結果は子ども会議で報告しています。困っていることなどの意向調査は職員が対応しています。改善まで時間のかかる課題はその旨を子どもたちに説明しています。携帯電話の取り扱いの改善を行っています。意見箱への要望や苦情については随時対応しています。

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】

苦情解決の体制は整備され掲示しています。意見箱を2か所の設置して、子どもから出た意見について支援者会議で検討しています。要望・苦情解決の取り組みは投函された要望だけでなく、職員が聞き取った内容も取り扱っています。結果については個別に子どもたちに報告しています。保護者には通知し、苦情は場所・時間などは配慮し対応しています。苦情受付の記録がされ、保管されています。苦情解決の体制等について記載してある林間生活ガイドブックや保護者のための案内を配布し説明しています。

②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】

複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した「林間生活ハンドブック」文書を作成しています。「林間生活ハンドブック」「保護者への案内」を配布しています。子どもたちの意見は就寝前の時間に個別の時間をとっています。個別の相談は心理室などで対応し、全体では子ども会議や寮会議等で話し合っています。個別に対応できる部屋の用意もあります。

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○

<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

話を聞ける体制として子ども会議・寮会議で傾聴に努めています。個別面接や意向調査を年1～2回実施しています。投函された要望だけでなく、職員が聞き取った内容も取り扱っています。個別相談など子どもたちに配慮された対応がされており、個別に対応できる部屋の用意もあります。また「個別面接の心得」「要望・苦情解決の解決のための仕組みについて」等のマニュアルの見直しをしています。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。 第三者  
評価結果

① 37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

事故報告、ヒヤリハット報告はインシデント委員会を設置し要綱を定め、周知、分析、再発防止をしています。事故報告・ヒヤリハット取り扱い要綱・不審者に対する安全管理マニュアルに手順等が明確になっています。不審者マニュアルが整備されており、施設内虐待防止委員会を設置し協議しています。職員会議で情報提供をし、アレルギー症状への対応などは職員へ周知されています。職員会議・支援者会議で評価・見直しをしています。

② 38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

感染症対策はとして、新型コロナウイルス感染症対策を支援者会議で検討し対応しています。C型肝炎キャリア施設内対応マニュアル、ノロウイルス対応マニュアル、インフルエンザ対応が整備し、職員に周知しています。隔離部屋の用意、保健所への連絡、消毒液等の用意などの対応が行われています。



③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○

【コメント】

職員や子ども参加による月一回の避難訓練を実施しています。災害時等、職員緊急連絡網の整備や通学中の学校等へ安否確認等を含む防災計画の整備をしています。備蓄リストがあり管理しています。

## 2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果	
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	○

【コメント】

「白十字会林間学校の運営」「白十字会林間学校生活支援要綱」「林間生活ガイドブック」に標準的な実施方法が文書化してあります。また、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されています。職員会議で周知しています。グループ会議や支援者会議報告で実施方法に基づいて実施されているか検討しています。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○

【コメント】

事業計画書。白十字会林間学校の運営に検証・見直しについて定められています。職員会議にて生活支援要綱の見直しをし、支援者会議にて自立支援計画・ガイドブック等の検討を行っています。子ども会議等で要望や意見があった子どもからの提案や職員会議等での職員の意見を反映させる仕組みとなっています。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	<input type="radio"/>

【コメント】

白十字会林間学校の運営、資料「児童自立支援計画について」に責任者を明示し、入所時自立支援計画票、児童自立支援計画票で施設以外の関係者も参加して、アセスメントを実施しています。グループ会議で事前にアセスメントを行い、自立支援計画を多職種で協議、作成しています。児童自立支援計画は手順に基づき取り組みをしています。支援困難ケースへの対応についてカンファレンスにより協議し、支援をしています。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	<input type="radio"/>

【コメント】

資料「児童自立支援計画について」で確認する仕組みが構築されています。グループ会議や支援者会議で定期的に見直しを行っています。年に1回自立支援計画を策定し毎年評価の見直しを行っています。また緊急に自立支援計画を変更する仕組みもできています。自立支援計画は十分に実施できていない内容等、養育・支援の質の向上に関わる課題等を明確にしています。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【コメント】

統一された育成記録の活用やネットワーク化をしており、きちんと記録されています。職員間で育成記録を社内LANで職員間で回覧し情報共有しています。またグループ会議、支援者会議等で情報共有をしています。記録に関して職員指導を実施しています。

② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	○

【コメント】

個人情報管理規程が整備されており、個人情報保護については職員会議にて研修し、遵守しています。個人情報の取扱いについて、子どもや保護者に林間生活ガイドブックを配布し説明しています。

内容評価基準（25項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。	○

【コメント】

白十字会林間学校生活支援要綱に権利擁護に関する規程・マニュアル等が示されており、職員会議等で周知し支援しています。子供へは「子どもの権利ノート」「林間生活ガイドブック」で説明しています。個別面接やグループ会議、教会や礼拝は自由参加となっています。信教上の理由で牛肉が禁食となっている児童への別メニュー対応し配慮しています。人権擁護、人権侵害防止のためのチェックリスト実施をしています。賞罰委員会の設置及び人権擁護、人権侵害防止のためのチェックリスト実施しています。虐待防止委員会も設置しています。

(2) 権利について理解を促す取組

①	A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 権利についての理解を深めるよう、年齢に配慮した説明を工夫し、日常生活を通して支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの年齢や状態に応じて、権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないこと、また、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 年下の子どもや障がいのある子どもなど、弱い立場にある子どもに対して、思いやりの心をもって接するように支援している。	<input type="radio"/>

【コメント】

白十字会林間学校生活支援要綱に権利擁護に関する規程・マニュアル等が示されており、職員会議等で周知し養育・支援しています。子どもの権利ノート、林間生活ガイドブックの分かりやすい資料を使用して子供に権利について説明しています。職員会議で人権擁護についての研修を行い、白十字会林間学校生活支援要綱の見直しを行っています。子どもの障害等、検討した上で他児へ説明し理解をもらう取り組みを行っています。

(3) 生い立ちを振り返る取組

①	A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの発達状況等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 事実を伝えた後、子どもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集・整理に努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生い立ちの整理に繋がっている。	<input type="radio"/>

【コメント】

カンファレンスなどで適切に事実を伝える対応について協議し対応しています。カンファレンスの結果を職員会議等で共有しています。生い立ちの振り返りの検討を児童相談所と相談して個々に行っています。施設独自のアルバム作責の手引きに基づき個別のアルバムの作成しています。高次脳機能障害の子どもに特別にアルバムを作成するなど個別的に成長の記録を作成しています。アルバム等を使い、職員と一緒に振り返り、子どもの生い立ちの整理に繋がっています。

(4) 被措置児童等虐待の防止等

①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 体罰や不適切なかかわり(暴力、人格的辱め、心理的虐待など)があった場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがとられている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、会議等で具体的な例を示すなどして職員に徹底し、行われていないことを確認している。また、不適切なかかわりを発見した場合は、記録し、必ず施設長に報告することが明文化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けており、不適切なかかわりの具体的な例を示して、子どもに周知し、子ども自らが訴えることができるようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができており、被措置児童等虐待の届出・通告があった場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、説明している。また、掲示物を掲示するなどして、子どもが自ら訴えることができるようにしている。	○

【コメント】

て白十字会林間学校生活支援要綱に虐待防止について明示しており、就業規則に厳正に処分を行う仕組みが明確になっています。施設内虐待防止委員会や賞罰委員会を設置しています。子どもへの面接を年二回実施をしており、林間生活ガイドブック等で子供に周知し、子供自らが訴えられるように意見箱を設置しています。届け出や通告制度は就業規則に定められており、子ども権利ノートや意見箱の活用などにより虐待防止に取り組んでいます。

(5) 子どもの意向や主体性への配慮

①	A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 余暇の過ごし方について、子ども自身が自由に選択し、一人ひとりの趣味や興味に合った活動が行えるように支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの状況に応じて、金銭の管理や計画的な使い方などを学び、金銭感覚や経済観念が身につくよう支援している。	○

【コメント】

林間生活ガイドブック資料の中に毎日の生活について、寮での生活について、お金について、卒業後のことについて定めたあり、子ども会議で説明もしています。寮会議にて休日等の過ごし方について相談しています。趣味や興味に合った活動が行えるように支援しています。

(6) 支援の継続性とアフターケア

①	A6 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもたちの生活の連続性に関して、施設全体でその重要性を理解し、入所や退所に伴う不安を理解し受け止めるとともに、子どもの不安を軽減できるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 入所した時、温かく迎えることができるよう、受け入れの準備をしている。	○

<input type="checkbox"/> 子どもがそれまでの生活で築いてきた人間関係などを、可能な限り持続できるよう配慮している。	○
<input type="checkbox"/> 家庭復帰や施設変更にあたり、子どもが継続して安定した生活を送ることができるよう、支援を行っている。	○

【コメント】

乳児院や前施設の職員との交流を大切にし、入所前の地元の友人との交流を行える支援をしています。入所予定の子供には、入所日には子どもの好きなメニューや好きなキャラクターを用意やその日に買い物につれていくなど、個々に合わせた慣らし保育の実施をしています。

② A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	b
<input type="checkbox"/> 子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。	○
<input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 本人からの連絡だけでなく、就労先、アパート等の居住先からの連絡、警察等からのトラブル発生の連絡などにも対応している。	○
<input type="checkbox"/> 退所者が集まれる機会や、退所者と職員・入所している子どもとが交流する機会を設けている。	○

【コメント】

退所後の生活のためにリービングケア委員会を設置しています。同窓会の実施や施設行事への招待などを行っています。退所後の生活支援（アパートの掃除手伝いや就労先路の連絡）などを林間生活ガイドブックで伝えています。あすなろサポートステーションとの連携しアフターケアを行っています。退所者の状況も記録しています。

## A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果
① A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	b
<input type="checkbox"/> 職員はさまざまな知見や経験によって培われた感性に基づいて子どもを理解し、受容的・支持的な態度で寄り添い、子どもと共に課題に向き合っている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの生育歴を知り、そのときどきで子どもの心に何が起こっていたのかを理解している。	○
<input type="checkbox"/> 子どもが表出する感情や言動のみを取り上げるのではなく、被虐待体験や分離体験などに伴う苦痛・いかり、見捨てられ感も含めて、子どもの心に何が起きているのかを理解しようとしている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもたちに職員への信頼が芽生えていることが、利用者アンケートを通じて感じられる。	○

【コメント】

子どもの言動に気をつけ、グループ会議で情報共有し支援をしています。感情等、表出することが苦手な児童を理解するため、自立支援計画に基づきグループ会議や支援者会議で情報共有を行っています。子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めることを生活支援要綱に明示しており、支援者会議等で周知しています。

②	A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 基本的欲求の充足において、子どもと職員との関係性を重視している。	○
	<input type="checkbox"/> 生活の決まりは、秩序ある生活の範囲内で子どもの意思を尊重した柔軟なものとなっている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって身近な職員が一定の裁量権を有し、個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別的に触れ合う時間を確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 夜目覚めるとき大人の存在が感じられるなど安心感に配慮している。	

【コメント】

一人ひとりの基本的欲求を満たすようにしています。生活支援要綱で職員が個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっていることを確認し、実施されています。。就寝前に個別の時間をとっています。低学年児は添い寝をしています。

③	A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は必要以上の指示や制止をしていない。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> つまずきや失敗の体験を大切にし、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。	○
	<input type="checkbox"/> 朝・夕の忙しい時間帯にも、職員が子どもを十分に掌握、援助できるように、職員の配置に配慮している。	○

【コメント】

白十字会林間学校生活支援要綱に主体性を尊重する支援について明示しており、必要以上の指示や静止を行っていない支援をしていることが記録されています。朝・夕の忙しい時間帯にも、職員が子どもを十分に掌握、援助できるように職員の配置に配慮しています。

④	A11 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設内での養育が、年齢や発達の状況、課題等に応じたプログラムの下、実施されている。	○

<input type="checkbox"/> 日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握し、可能な限りニーズに応えている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報交換ができています。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 子どもたちのニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 幼稚園等に通わせている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 子どもたちの学びや遊びを保障するための、資源（専門機関やボランティア等）が十分に活用されている。	<input type="radio"/>

【コメント】

子ども達の状況や季節に応じた学びの場、行事が実施されています(ジャガイモ堀→フライドポテト作り等)。ボール、パトミン、けん玉、砂場道具、竹馬などが用意されています。またプールも設置されています。一人一台自転車が購入できるように支援をしており、個々に検討して習い事や塾・コミュニティーセンター公民館等への利用もしています。子どものニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされています。幼稚園に通園している子どもがいます。図書館、CAPに参加、スタチプロジェクトを活用しています。

⑤	A12 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが社会生活をいとなむ上での必要な知識や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもと職員が十分な話し合いのもとに「しなければならないこと」と「してはならないこと」を理解し、生活するうえでの規範等守るべき決まりや約束と一緒に考え作っていくようにしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 地域社会への積極的参加を図る等、社会性を習得する機会を設けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達の状態に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理できるよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達の状態に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくように支援している。	<input type="radio"/>

【コメント】

アルバイトや習い事を通じて社会活動に参加しています。林間生活ガイドブックなども一緒になって作っています。あすなるサポートステーションの児童研修「身だしなみと面接マナー」受講やネットやSNSについて委員会で計画しているなど子どもの現状を理解の上進めています。自己管理できるよう支援している記録を確認しています。

(2) 食生活

①	A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	b
	<input type="checkbox"/> 楽しい雰囲気でも食事ができるように、年齢や個人差に応じて食事時間に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事時間が他の子どもと違う場合にも、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気でも常に清潔が保たれたもとで、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として機能するよう工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが献立に反映されている。	<input type="radio"/>



基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつをつくる機会を設けている。

【コメント】

食育委員会で嗜好などの検討を取り組み、各寮内でメニューを決め、食事作りをしています。子どもたち個々の嗜好を聞き、誕生日メニュー等、子どもの希望が反映できるようにしています。塾やクラブ活動等で通常の食事時間に帰れない子どもにも適温提供をしています。食事場所の衛生管理もしています。食事会議を実施して、子どもと職員の意見を反映しています。餃子づくり等の機会を設けて実施しています。

(3) 衣生活

①

A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。

a

常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。

汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、十分な衣類が確保されている。

気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。

洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮している。

衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。

発達状況や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。

【コメント】

必要な児童は季節ごとに担当職員と洋服を買いに行っています。年間の被服費やその費用の配分が決められ、それを目安に子ども自身で購入しています。各個室に衣類収納ケース等があり、衣類整理を子ども自身がしています。必要に応じて職員の支援もしています。洗濯、アイロンかけ、補修等子どもの見えるところで行っています。

(4) 住生活

①

A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。

b

子どもにとって居心地の良い安心安全な環境とは何かを考え、積極的に環境整備を行っている。

小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。

中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。

身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。

食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。

設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていない。破損個所については必要な修繕を迅速に行っている。

発達や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。

【コメント】

子どもにとって居心地の良い安心安全な環境整備を行っています。小規模グループ制をしています。小学生以上は個室の用意をしています。日用品類もできるだけ個人所有にしています。共有スペースはきれいにされており、雰囲気づくりにも配慮しています。設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていません。また居室を清掃する時間を設けているなど強制しないように子どもたちの自主性に応じて行っています。

(5) 健康と安全

①	A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察し、対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	○

【コメント】

定例診察及び嘱託医との連携がされています。看護師からのアレルギー等に関する情報提供をしており、食中毒、アレルギー、感染症の学習会を職員間で実施をしています。必要な子どもの医療機関と連携しながら服薬管理もしています。

(6) 性に関する教育

①	A17 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	b
	<input type="checkbox"/> 他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	○
	<input type="checkbox"/> 性についての正しい知識、関心が持てるよう、年齢、発達の状況に応じたカリキュラムを用意し、活用している。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性をめぐる諸課題への支援や、学習会などを職員や子どもに対して実施している。	○

【コメント】

生活支援要綱、林間生活ガイドブック等で年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮しての支援が定められて、育成記録等で実施していることを確認しました。性教育委員会の設置し、年齢に応じたカリキュラムを用意して性教育を行っています。ケースによって児童相談所の保健師と連携し、個別の性教育を行っています。性教育は全体で同じことを教えるのではなく、必要性や内容を個別に検討し実施することを方針としています。

(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

①	A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもを安全を守る配慮がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その都度、問題の要因を十分に分析して、施設全体で立て直そうと努力している。	○

<input type="checkbox"/> 不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。	○
<input type="checkbox"/> くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を見つけ出そうと努力している。	○

【コメント】

生活支援要綱に子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応することが明示されており、職員に周知し、研修も行っています。職員に対して不適切な言動をとってしまう児童に対して、生活支援要綱に従い、担当職員を中心に振り返りを行いながら支援しています。

<p>②</p> <p>A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。</p>	a
<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	○
<input type="checkbox"/> 課題のある子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 大人（職員）相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっている。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合には、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	○
<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。	○

【コメント】

支援者会議等で職員の配置や勤務形態のあり方について検討を行っており改善もしています。生活グループ構には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮して決めています。個別面接を年2回実施し、日常生活の中で些細な事でも何かあれば個別面談を行っています。子ども間のことは施設全体だけではなく児童相談所及び関係機関と協力体制をとっています。

(8) 心理的ケア

<p>①</p> <p>A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。</p>	b
<input type="checkbox"/> 心理的ケアを必要とする子どもについては、自立支援計画に基づき心理支援プログラムが策定されている。	○
<input type="checkbox"/> 施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で有効に組み込まれている。	○
<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが行われている。	○
<input type="checkbox"/> 職員が必要に応じて外部の心理の専門家からスーパービジョンを受ける体制が整っている。	○
<input type="checkbox"/> 心理療法を行うことができる有資格者を配置し、心理療法を実施するスペースを確保している。	○
<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携し、対象となる子どもの保護者等へ定期的な助言・援助を行っている。	○

【コメント】

施設心理士を配置しており、プレイセラピーや子どものアセスメントを実施しています。課題のある子どもによっては児童相談所への通所を行って連携をとっています。心理士が研修及び各種会議に参加しています。心理的ケアの職員研修が実施されています。児童相談所の心理士のすべビジョンを受けています。

(9) 学習・進学支援、進路支援等

①	A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるようにその時の本人の希望に沿えるような個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。	○
	<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 学力が低い子どもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出について把握し、子どもに応じた支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 障害のある子どものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校等への通学を支援している。	○

【コメント】

小学生以上は個室を用意しており、学習机が用意されています。共有スペースにも机の用意がしてあります。学校教師とも連携をして学習支援をしています。また学習塾への通塾や支援級への通学、図書室の利用などを行っています。

②	A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っている。	○
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画に載せ、各機関と連携し支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 就学者自立生活支援事業、社会的養護自立支援事業、身元保証人確保対策事業、奨学金など、進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報提供をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 学校を中退したり、不登校となった子どもへの支援のなかで、就労(支援)しながら施設入所を継続することをもって社会経験を積めるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて支援、情報提供をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。	○

【コメント】

進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っています。進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を踏まえて自立支援計画を作成しています。高校卒業後の措置延長については個々に検討し情報提供しています。あすなるサポートステーション等と連携を取り対応しています

③	A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について話あっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。	<input type="radio"/>

【コメント】

職場実習を通して自分の行為に対する責任について話し合っています。金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援にも取り組んでいます。実習先や体験先をあすなるサポートステーションを中心に開拓しています。アルバイトの機会を確保するように努めており、英語検定取得を勧めているなど学習の機会を設けています。あすなるサポートステーションとの連携やインターンの参加などもしています。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅などを取り入れ子どもと家族の継続的な関係づくりに積極的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、不適切なかかわりの発見に努め、さらに保護者等による「不当に妨げる行為」に対して適切な対応を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもに関係する学校、地域、施設等の行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ている。	<input type="radio"/>

【コメント】

「保護者のための案内」で家族に説明し、家族と信頼関係を構築できるよう図っています。家庭支援専門相談員が中心となり、ケースワークを含め児童相談所と密に連絡を取り、保護者等と家族調整を行って信頼関係を構築しています。面会や外出、一時帰宅などを取り入れています。保護者等との話し合い記録で適切な対応をしている事を確認しました。行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ています。

(11) 親子関係の再構築支援

①	A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向上などに取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

内泊、家庭訪問、外泊など家庭支援専門相談員を中心として積極的に取り組んでいます。児童相談所とも連携し家族支援を行っています。